

1900

- 1 「既読もついてない。」
- 2 へ黙り込んで泣きそうなの……」
- 3 へ先輩を見つけるとわずかに嬉しそうなの、けどまた無視されると思うと辛そうなの。「……あつ。」
- 4 「先輩、こんにちは、今日も遅いんですね。」
- 5 へ避けてるとか？は笑いながら聞く、内心辛いけど「学校で何かしてるんですか？それとも、わ、私を避けてるとか……？」
- 6 へ「ここも泣きそうだけどいつもみたいに」せ、先輩、きいてますか？今日も無視ですか？あつ……」
- 7 「んんっ……ぐずっ……」ツ×
- 8 へ涙を堪えて、偉い」……っ、んっ……」
- 9 「先輩、少しだけ、話を聞いてもらえませんか？」
- 10 「先輩は何も言わなくていいので、きいてるだけでいいので……」
- 11 「んんっ……」
- 12 「あ、あの……昨日、いろいろ考えたんです、先輩がどうして、私のことを無視するんだろうって……」
- 13 「優しく、ちょっと抜けてるけど面倒見がよくて、いざって時は男らしくて……」
- 14 「そんな先輩が、急に無視するなんて、よっぽどの理由があるんだろうなって……」

15 「…ひょっとしたら、私、ずっと迷惑だったのかな…って。」

16 「私が話しかけたり、こうして待ってたりするのが迷惑だから、先輩はやさしいから相手をしてくれたけど、とうとう我慢の限界で、無視することになったのかなって…」

17 「…も、もしそうだとしたら、ちゃんと、謝りたいなって…」

18 っ！許してもらおうだなんて思ってたません！ただ、このまま、無視されたまま、先輩と離れることになるのは…」

19 「奢ってもらった分も、ちゃんと、返しますから、だから、だから…ぐずっ…」

20 「無視、しないでください…ぐずっ…」

21 っ「っら、つらいです…先輩に無視されると胸がぎゅって、辛いんです…」

22 「一言、一言でいいですから…先輩…あっ。」

23 「やだ、いか、いかないで…」

24 「先輩、楽しそうだったじゃないですか…映画に行った時も、ファミレスと一緒に勉強した時も、いっぱい笑ってたじゃないですか…」

25 「あれも、全部、嘘だったんですか…？ほんとはずっと迷惑だったんですか…？」

26 「冬休みも遊びに行こうって約束、あれも嘘だったんですか…？」

27 「ねえ先輩、答えてください、先輩、先輩、せんぱい…」

28 「ぐずっ…せんぱいっ…」

29 【去っていくSEとか】

30 「…ぐずっ…んっ、んんっ…うう…」

31 へ涙をぬぐうV 「ぐずっ…はあ…はあ…はあ…んんっ…！」

32 「っ、はあ…はあ…まだ、折れませんか…」

33 「許してくれなくてもいいです…私、先輩が反応してくれるまで、

諦めませんから…ぐずっ…」

34 へ泣くのを必死に我慢してるけどないちゃうような 実質おちびり

V 「んんっ…ぐずっ…はあ…はあ…んんっ…ずんっ…はあ…

はあ…」

35